



## § 1 麦類「赤かび病」について

「赤かび病」は、コムギやオオムギなどの麦類が糸状菌に感染することで発生する病気です。病原菌としては「*Gibberella zeae*」や「*Fusarium graminearum*」など約10種類が知られています。本病は主に穂に発生しますが、茎葉や幼苗にも発生します。幼苗に感染すると立ち枯れ症状となるほか、被害子実の多くが不稔またはくず麦となり減収となります。

本病は、菌糸や子のう胞子が麦の被害種子や罹病残渣に付着または寄生して越冬し、翌春に飛散した子のう胞子が第一次発生源となります。この子のう胞子の飛散は降雨時または降雨後の曇天多湿時に多く、感染適期は開花期～乳熟期となります。この時期は特に雨が多く、気温が比較的高く(20～27℃)経過すると激発することになります。穂が発病すると赤かび病菌は分生子を形成し、二次感染を引き起こし被害が拡大します。本病に罹病すると、開花後7～10日後から穂の一部や全体が褐変し、穎(えい)の合わせ目に桃色のカビ(分生胞子)が生じます。その後罹病部が古くなると表面に黒色の小粒点(子のう殻)が見られることがあります。

また、本病原菌は「マイコトキシン」として、デオキシニバレノール(DON)やニバレノール(NIV)等のかび毒を産出するため、農産物検査規格では、赤かび粒混入率の許容値は0.0%と厳しく設定されています。「マイコトキシン」:赤かび病菌の代謝物のこと。家畜や人間に食欲減退、下痢、嘔吐、白血球の減少等の中毒症状を引きおこします。



### <防除対策>

1. 薬剤防除:開花から10日間は本病に感染しやすいため、ほ場における麦類の生育状況を把握し、開花期に重点的に防除を実施します。2回目の防除は1回目の防除から7～10日後を目安に行います。雨間散布でも効果が期待できるため、降雨が多い場合であっても、晴れ間などに確実に防除を実施します。(赤かび病に登録のある農薬は別表参照)
2. 耕種的防除:稲や麦わらなどの作物残渣は、持ち出しや鋤き込みにより適切に処理します。また越冬後に土入れを行うと発病を抑制できます。
3. 適期収穫と適正な乾燥の実施:本病の発生ほ場での刈り遅れはDONの産生を助長することから、適期に収穫を行います。収穫時に赤かび病発生が多い圃場においては、可能な限り分別収穫を行います。収穫後は速やかに乾燥を行い、水分量を低下させます。
4. 健全種子の利用:発生圃場から採種した種子は使用しません。また、塩水選や種子消毒を行い、種子伝染を防ぎます。
5. ほ場管理:窒素質肥料の過用や追肥施用時期の遅延によりムギ穂の本病への感受性が高まるため、適正な肥培管理に努めます。また排水不良のほ場では発病を助長するので、排水溝の点検を行います。

### <新規赤カビ病対策殺菌剤:「ミラビスフロアブル」のご紹介>

今春より、シンジェンタが開発した新規有効成分「アデピディン」(ピシフルメフェン 18.3%)を含む新規殺菌剤「ミラビス FL」が本州でも使用可能となります。

麦の赤カビ防除剤として使用していただきたく、ご紹介します。

#### ◆特長◆

◎新規成分「アデピディン」(ピシフルメフェン 18.3%)を含む SDHI 系統の殺菌剤です。

- ◎小麦の赤かび病防除のローテーション防除による耐性菌対策になります。
- ◎赤かび病の原因菌に対して殺菌力があり、発生初期の病害の進行を阻止します。
- ◎フザリウム属菌、ミウロドキュウム、ニバーレ菌由来の赤かび病に極めて高い効果があります。
- ◎DON(天然かび毒)の低減効果もあります。
- ◎ワックス層へ素早く吸着し、耐雨性に優れ、梅雨時期の条件下でも効果が安定します。



もっとシンプルに、もっとパワフルに。小麦の赤かび病防除は、次のステージへ。

**新規系統SDHI**

- ×小麦の赤かび病防除の新戦力
- ×ローテーション防除による耐性菌対策に一役
- ×独自の分子構造で優れた効果を発揮

**赤かび病の原因菌に独自の優れた殺菌力**

- ×発生初期の病害の進行を阻止
- ×フザリウム属菌、M.ニバーレ菌に極めて高い効果
- ×DON(かび毒)の低減効果

**新** **優** **強**

**雨に強く、効果が安定**

- ×ワックス層への素早い吸着
- ×耐雨性に優れ、雨が多い時期も安心
- ×様々な条件下でも効果が安定

### ■適用病害の範囲及び使用方法

2022.2.24時点

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピジフルメトフェンを含む農業の総使用回数
小麦	赤さび病	1500~2000倍	50~150L/10a	収穫 7日前まで	2回以内	散布	2回以内
	赤かび病	250~500倍	25L/10a			無人航空機による散布	
		8~16倍	800mL/10a			散布	
大麦	赤かび病	1500~2000倍	60~150L/10a	収穫 14日前まで	2回以内	散布	2回以内
		8~16倍	800mL/10a			無人航空機による散布	

## § 2 農機具シェアリングプラットフォーム「AGRICOM」紹介

この度、弊社は、農機具シェアリングプラットフォーム「AGRICOM(アグリコム)」を開発・運営している株式会社エボレボのパートナー企業となりました。この「AGRICOM(アグリコム)」は、農家同士がネット上で農機具の貸し借りがすることが出来るアプリで、「簡単」「安心」「お得」を合言葉に、現在会員募集を行っております。農機を貸す側でも借りる側にもなれます、所有している農機具を使用していない場合には貸し出す側、農作業時に必要な機械が足りない場合には借りる側としてご活用いただければと思います。興味のある方はぜひともホームページ(<https://agricom.jp/>)を見ていただき、まずは登録していただければと思います、会員登録は無料です。

### <特徴>

- ・登録費用、年会費は無料です。(シェアリング発生時以外は基本無料です。)
- ・シェアリング期間であれば、全商品保険を付帯していますので、安心して貸し借りできます。

農機具本体最大 500 万円賠償責任(対人・対物)最大 3000 万円の補償となります。

### <利用方法>

- ① ネット上で必要な商品を選ぶ。
- ② 予約をリクエストする。
- ③ メッセージを確認して、交渉、貸出側と期間、費用、輸送コスト・方法等の詳細を詰めます。
- ④ シェアリングを開始する。

### 農機具の輸送方法について

基本的には、当事者同士の話し合いで決めます。しかしながら、大型機械等輸送がご自身で難しい場合には、AGURICOMと提携している陸送会社がありますので、活用してください。その場合には費用は当事者負担となります。



●会員登録無料

●年会費無料

●1日単位で農機具を貸出できます

●貸出金額も自由に決められます

●全商品保険が付帯

例) トラクターを1日 2万円で出品したとすると  
2万円×5日間+手数料=¥67,000の収入  
※アグリコムへの手数料は5%+消費税となります。